

しんかんきょう

公益社団法人神奈川県環境保全協議会

2015. 4
第 133 号

(総会特別号)



(気象庁提供)

● 本号には総会議案の一部を掲載しました！
総会当日にご持参ください。

● 総会に続く記念講演会！

「近年の自然災害と気候変動」

NPO法人 防災情報機構 会長

(元NHK解説委員) 伊藤 和明 氏



会報 しんかんきょう も く じ

平成27年 4 月 No.133 (総会特別号)

1	第3回定時総会のご案内	
(1)	第3回定時総会次第	1
(2)	第1号議案 平成26年度事業報告について	2
(3)	第2号議案 平成26年度収支決算報告について	7
(4)	第3号議案 役員の一部改選について	10
	協議会事務局	
2	平成27年度公益社団法人神奈川県環境保全協議会環境保全表彰	11
	協議会事務局	
3	法令・行政の動向	
	ガソリンペーパー対策の推進について	12
	神奈川県環境農政局環境部大気水質課	
4	新技術紹介	
30	明るすぎはもったいない!	14
	— 蛍光灯をそのまま省エネ化する調光装置 —	
	株式会社スーパーセキュリティソリューションズ	
5	平成26年度環境保全視察研究会に参加して	16
	第一三共ケミカルファーマ株式会社 小田原工場	
	管理部スタッフグループ 疋田 康	
6	会員事業所訪問「お元気ですか？」	17
22	株式会社GSユアサ小田原事業所	
	協議会事務局 山崎 美紀	
7	協議会の活動状況	18
	協議会事務局	
8	お国自慢・事務局だより	20

第3回定時総会のご案内

第3回定時総会次第

開催日程：平成27年5月22日（金）

開催場所：県民共済みらいホール（最寄駅は桜木町、ラウンドマーク横）

[第1部] 第3回定時総会 (14:00～15:05)

- 1 開会のことば
- 2 会長あいさつ
- 3 来賓祝辞
- 4 議長選出
- 5 議事録署名人選出
- 6 議事

(1) 審議事項

- | | |
|-------|----------------------------------|
| 第1号議案 | 平成26年度事業報告について |
| 第2号議案 | 平成26年度収支決算報告について
平成26年度会計監査報告 |
| 第3号議案 | 役員の一部改選について |

(2) 報告事項

- | | |
|-----|----------------|
| 報告1 | 平成27年度事業計画について |
| 報告2 | 平成27年度収支予算について |

- 7 閉会のことば

《休憩》

[第2部] 環境保全表彰 (15:15～15:25)

環境保全表彰

[第3部] 記念講演 (15:45～16:45)

伊藤 和明 氏

特定非営利活動法人 防災情報機構 会長

「近年の自然災害と気候変動」

*ここ最近、火山災害、豪雨と土砂崩れによる複合災害、大雪災害など様々な災害に遭遇したが、近年の自然災害と気候変動と関係について語っていただく。



[第4部] レセプション (17:15～18:45) [6階 ヴァランセ]

議案資料

- | | | |
|-------|------------------------------|-------------|
| 第1号議案 | 平成26年度事業報告案について・・・本誌2～6ページ | |
| 第2号議案 | 平成26年度収支決算報告案について・・・本誌7～9ページ | 総会にてスライドで説明 |
| 第3号議案 | 役員の一部改選について・・・・・・・・・・本誌10ページ | |

第1号議案 平成26年度事業報告について

凡例： 公益目的事業 その他事業（共益事業） 公益・共益が混在（会報）

事業名等	実施内容
総会	
公益社団法人神奈川県環境保全協議会 第2回定時総会 平成26年5月30日(金) 会場 県民共済みなとみらいホール	(1) 総会議事 (2) 平成26年度（公社）神奈川県環境保全協議会環境保全表彰 8事業所が受賞されました。 (3) 記念講演「海洋の神秘～深海のダイオウイカの謎を探る～」 独立行政法人国立科学博物館 標本資料センター コレクションディレクター 分子生物多様性研究資料センター長・併任 水産学博士 窪寺 恒己 氏 参加者：119名（会員95・非会員24）
会議	
1 理事会 第1回通常理事会 平成26年5月30日(金) 場所 県民共済みなとみらいホール	(1) 平成25年度事業報告について (2) 平成25年度収支決算報告について
第1回臨時理事会 平成26年5月30日(金) 場所 県民共済みなとみらいホール	会長の選定を行い、高橋 徹理事を代表理事・会長に選定した。
第2回臨時理事会 平成26年11月7日(金) 場所 富士フィルム(株)神奈川工場 小田原サイト	審議事項 (1) 平成26年度事業の進捗状況報告と事業予定案について (2) 新入会員の承認と役員の一部変更について (3) 今後5か年（H27～H31）の事業計画案について (4) 第3回定時総会及び記念講演の開催案について (5) 神環協の事業運営について 報告事項 (1) 平成26年度の（公社）環境保全協議会会員の表彰状況 (2) 理事会の今後の開催予定 神環協の事業運営については継続審議となったが、その他は承認された。
第2回通常理事会 平成27年3月13日(金) 場所 横浜情報文化センター	(1) 平成26年度事業結果報告案及び収支決算報告案について (2) 平成27年度事業計画案及び収支予算案について (3) 平成27年度環境保全表彰（会長表彰）について ほか
2 総務委員会 第1回 平成26年11月7日(金) 場所 富士フィルム(株)神奈川工場 小田原サイト	(1) 第2回臨時理事会の開催について (2) 今後の理事会の開催予定について ほか
第2回 平成27年3月13日(金) 場所 横浜情報文化センター	(1) 平成27年度環境保全表彰等被表彰者の選考について (2) 平成26年度第2回通常理事会及び第3回定時総会開催について (3) その他

事業名等	実施内容
<p>3 企画教育委員会 第1回 平成26年9月12日(金) 場所 東邦チタニウム株</p>	<p>(1) 平成26年度の教育事業進捗状況及び事業予定について ア. 平成26年度事業の実施状況(8月末現在) イ. 平成26年度事業の今後の予定について (ア) 地区研修会 (イ) 受託事業 (ウ) その他自主事業 ・環境実践後継者講座育成講座(廃棄物編)(1月開催予定) ・女性のための環境保全研修会(11月開催予定) ・環境保全視察研究会(3月実施予定)</p> <p>(2) 平成27年度以降の事業計画について (ア) 5か年事業計画案(H26年度～H30年度)全体概要版 (イ) 平成27年度新規事業計画案について ・公害防止管理者等フォローアップ研修会(仮称) (ウ) 第3回定時総会と記念講演の開催案</p> <p>(3) その他事項</p>
<p>第2回 平成27年2月27日(金) 場所 横浜市開港記念会館</p>	<p>(1) 平成26年度事業実施状況について (2) 平成27年度事業計画案について</p>
<p>4 広報委員会 第1回 平成26年6月6日(金) 場所 横浜波止場会館</p>	<p>(1) 会報“しんかんきょう131号”(2014年8月号)の発行について (2) 今後の会報“しんかんきょう”発行計画について (3) ホームページ広報について</p>
<p>第2回 平成26年12月5日(金) 場所 横浜波止場会館</p>	<p>(1) 会報“しんかんきょう132号”(2015年1月号)の発行について (2) 会報133号(2015年4月号)の発行計画等について (3) ホームページ広報について</p>
<p>5 地区部会等 (1) 地区部会の役員会議(4地区) 平成27年1月～3月</p>	<p>(1) 平成27年度事業計画について (2) 会長表彰、県政総合センター所長表彰等候補者の推薦 ほか</p>
<p>(2) 大和・綾瀬分会 理事会 4回開催</p>	<p>(1) 平成27年度事業計画について (2) 最新の廃棄物情報について (3) 第1回環境保全研修会(新規) h27.2.25 大和商工会議所にて</p>
<p>会計監査</p>	
<p>6 平成26年4月8日(火) 場所 横浜市開港記念会館</p>	<p>監事：武田 純一氏、宮井 達也氏</p>
<p>研修会事業</p>	
<p>1 ISO内部環境監査員養成研修会 平成26年5月8日(木)～9日(金) 会場 万国橋会議センター *受講者：17名 (会員15・非会員2)</p>	<p>講師：山岡憲一氏、坂山幸平氏 (1) 環境側面について (2) 規格要求事項の概要と内部環境監査のポイント (3) 環境法規 (4) 内部監査の進め方 (5) 演習(現場監査の実際・整合性監査・チェックリスト) (6) 研修効果(テスト)確認</p>

事業名等	実施内容
<p>第2回 ISO内部環境監査員内部監査員養成研修(出前講座) 平成26年6月22日(日) 会場 トピー工業(株)綾瀬製造所 *受講者:20名(全て会員)</p>	<p>講師:山岡憲一氏、坂山幸平氏 (1) 環境側面について (2) 規格要求事項の概要と内部環境監査のポイント (3) 環境法規 (4) 内部監査の進め方 (5) 演習(現場監査の実際・整合性監査・チェックリスト) (6) 研修効果(テスト)確認</p>
<p>ISO内部環境監査員ブラッシュアップ研修(出前講座) 第3回 平成26年9月3日(水) 会場 ビアメカニクス(株) *受講者:14名(全て会員)</p>	<p>講師:山下知子氏、川口正人氏 (1) 法規制の改正動向 (2) 審査動向と内部監査のポイント等 (3) 内部環境監査の実際 (4) 内部監査の演習</p>
<p>ISO内部環境監査員ブラッシュアップ研修(出前講座) 第4回 平成26年9月5日(金) 会場 (株)神戸製鋼所藤沢事業所(全非会員) *受講者:20名</p>	<p>講師:山下知子氏、川口正人氏、江崎智子氏 (1) 企業における環境管理と内部監査の役割 (2) 最近の環境法令の動向 (3) 内部監査の在り方 (4) 実践演習</p>
<p>第5回 ISO内部環境監査員内部監査員養成研修(出前講座) 平成27年2月24日(火) 会場 日産車体(株) *受講者:13名(全て会員)</p>	<p>講師:山岡憲一氏、長峯長次氏 (1) 環境側面について (2) 規格要求事項の概要と内部環境監査のポイント (3) 環境法規 (4) 内部監査の進め方 (5) 演習(整合性監査・チェックリスト) (6) 研修効果(テスト)確認</p>
<p>2 生物多様性と企業との関わりに関する研修会(新規事業) 平成26年9月19日(金) 会場 (株)東芝横浜事業所 *受講者:42名(会員31、非会員11)</p>	<p>講師:松本 操、窪田建平、岸 由二の各氏 (1) 生物多様性と企業リスクについて (2) 神奈川のナショナル・トラスト運動の取組紹介 (3) 東芝担当者による場内ビオトープ等の現地案内</p>
<p>3 環境実務後継者育成講座 平成27年1月16日(金) 会場 万国橋会議センター *受講者:34名(会員30、非会員4)</p>	<p>講師:青山尚己、長岡文明(BUN環境課題研究所主宰) 神田英治(環境保全アドバイザー)の各氏 (1) 環境法令の全体像の理解及び環境法令の読み方(ルール) (2) 廃棄物処理法の基礎知識 (3) 廃棄物処理法(応用編)(中級編) (5) 企業における廃棄物の適正管理の重要性</p>
<p>4 女性担当者のための環境保全研修会 (1) 第1回(テーマ:廃棄物処理) 平成26年5月23日(金) 会場 かながわ環境整備センター *受講者:21名(会員19、非会員2)</p>	<p>講師:山下知子(環境保全アドバイザー)氏、山ノ口紗也加氏 かながわ環境整備センター担当者による現地案内 (1) 環境法を知る! - 廃棄物処理法について - (2) こんなときどうする? - ビアメカニクス(株)における廃棄物管理 -</p>
<p>(2) 第2回(テーマ:ISO14001) 平成26年8月29日(金) 会場 (株)日立製作所ITプラットフォーム事業本部横浜事業所 *受講者:27名(会員23、非会員4)</p>	<p>講師:山下知子(環境保全アドバイザー)、室伏しのぶ、庚塚峻夫の各氏 (株)日立製作所ITプラットフォーム事業本部横浜事業所担当者による施設案内 (1) 環境法を知る! - ISO14001改正動向について -</p>

事業名等	実施内容
	(2) こんなときどうする？ - 三菱化学ハイテクニカ(株)小田原テクノセンターにおけるISO 14001取組みについて - (3) 実務のいろは！ - 内部監査について -
(3) 第3回 (テーマ：県の施策・条例) 平成26年12月12日(金) 会場：県環境科学センター *参加者：18名 (会員16、非会員2)	講師：山下知子、武繁春 (環境保全アドバイザー)、池貝隆宏の各氏県環境科学センター担当者による施設案内 (1) 環境法を知る！ - 生活環境保全等に関する条例について - (2) 実務のいろは！ - 企業における環境管理のポイント -
5 地区研修会 (1) 湘南地区研修会 平成26年9月26日(金) 会場 独立行政法人国立印刷局 小田原工場 *参加者：32名	(1) 湘南地域における環境の現状と課題について 神奈川県湘南地域県政総合センター環境部 岡村 和雄 環境保全課長 (2) 独立行政法人国立印刷局小田原工場の概要説明及び環境の取組について
(2) 県央地区研修会 平成26年10月3日(金) 会場 味の素(株)川崎事業所 *参加者：39名	(1) 味の素(株)川崎事業所の概要説明及び環境の取組 (2) 県央地域における環境の現状と課題について 神奈川県県央地域県政総合センター環境部 田中 晃 環境保全課長
(3) 横須賀鎌倉地区及び県西地区合同研修会 平成26年10月8日(水) 会場 日清オイリオグループ(株)横浜磯子事業場 *参加者：35名	(1) 横須賀三浦地域における環境の現状と課題について 神奈川県横須賀三浦地域県政総合センター環境部 長谷川 陽一 環境課長 (2) 日清オイリオグループ(株)横浜磯子事業場の概要説明及び環境の取組
調査・支援事業	
1 環境保全視察研究会 平成27年3月6日(金) *参加者：25名	県外事業所のものづくりの現場と環境施設の見学、環境保全活動の取組みを学ぶため、以下の視察を行いました。 新日鐵住金(株)鹿島製鐵所 【茨城県鹿嶋市】 鹿島共同再資源化センター(株) 【茨城県神栖市】
2 環境保全アドバイザーコンサルティング事業 *派遣実績：4件	環境保全アドバイザー登録状況：17名 ISO内部環境監査員養成研修会等の講師として活躍 主な派遣状況 (1) 内部監査員養成研修 2件 (延べ4名) (2) 内部監査員ブラッシュアップ研修 2件 (延べ5名)
3 会報の発行	会報「しんかんきょう」の発行 年3回：130号(4月総会特別号)、131号(8月)、132号(1月)
4 ホームページ及びメール速報による情報提供	環境法令改正トレンドを毎月、行政情報など随時発信
5 印刷物の発行頒布	アイドリングストップ啓発看板、指定事業所表示板の頒布

事業名等	実施内容
6 環境保全表彰 (2) 環境保全表彰式 (5 / 30)	平成26年度環境保全表彰被表彰者の表彰 (8事業所を表彰)
(1) 環境保全表彰選考会議 (3 / 13)	平成27年度環境保全表彰被表彰者の選考 (8事業所を選考)
連携事業	
1 環境保全被表彰者の推薦	
(1) 県政総合センター所長表彰 [横須賀鎌倉地区]	受賞者：ジョンソンコントロールズ(株)追浜工場 ＜横須賀市＞ 【大気・水・土壌功労】
[県央地区]	受賞者：日立オートモティブシステムズ(株)エンジン機構事業本部 厚木事業所 ＜厚木市＞ 【3R功労】
[湘南地区]	受賞者：大東化学(株)平塚工場 ＜平塚市＞ 【大気・水・土壌功労】
[県西地区]	受賞者：(株)日立情報通信エンジニアリング中井開発センター ＜中井町＞ 【大気・水・土壌功労】
(2) 県環境保全(大気・水・土壌関係) 功労者表彰(知事表彰)	受賞者：なし (県央地区部会推薦1件、審査段階で辞退)
(3) 県環境整備功労者表彰(知事表彰)	受賞者：なし (推薦・応募なし)
(4) かながわ地球環境賞(知事表彰)	受賞者：なし (推薦・応募なし)
2 かながわサイエンスサマー参加 平成26年8月22日(金) 参加者：33名(小学生32、中学生1)	平成24年度から参加し、3年目として、ソニー(株)厚木テクノロジーセンターとの共催によるこども向けのかんきょう・理科教室を開催した(第14回かながわサイエンスサマー)。 テーマ：振り振りスティック発電機を作って、電気エネルギーの仕組みを知ろう 会場：ソニー(株)厚木テクノロジーセンター
3 マイアジェンダ登録	行政、団体主催・主導の各種事業に協力、協同して取り組んだ。
4 エコドライブの推進	
5 レジ袋削減に向けたマイバッグ普及	
6 電気自動車の率先導入と来客用駐車場への充電器設置	

第2号議案 平成26年度収支決算報告について

正味財産増減計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	10,825,000	11,080,000	255,000
正会員受取会費収入	10,550,000	10,745,000	195,000
賛助会員受取会費収入	275,000	335,000	60,000
受取会費計	10,825,000	11,080,000	△ 255,000
事業収益	2,031,550	3,240,325	1,208,775
環境保全講習会事業収入	1,536,400	2,900,125	1,363,725
表示板等頒布事業収入	155,150	60,200	94,950
広告料収入	340,000	280,000	60,000
事業収益計	2,031,550	3,240,325	△ 1,208,775
受取補助金等	0	1,251,600	1,251,600
受取県事業受託収入	0	1,251,600	1,251,600
受取負担金	275,000	255,000	20,000
負担金収入	275,000	255,000	20,000
雑収益	21,158	56,209	35,051
受取利息	7,669	8,209	540
雑収入	13,489	48,000	34,511
雑収益計	21,158	56,209	△ 35,051
経常収益計	13,152,708	15,883,134	△ 2,730,426
(2) 経常費用			
事業費			
役員報酬	2,741,000	2,741,000	0
給料手当	4,602,643	4,584,413	18,230
退職給付費用	350,000	350,000	0
法定福利費	2,533,547	2,470,728	62,819
福利厚生費	131,602	142,343	10,741
旅費交通費	188,013	235,360	47,347
通信運搬費	423,455	539,506	116,051
会議費	629,179	495,311	133,868
消耗什器備品費	0	0	0
消耗品費	259,253	757,323	498,070
印刷製本費	1,133,674	1,403,963	270,289
光熱水料費	60,191	63,277	3,086
賃借料	244,782	440,614	195,832
諸謝金	321,824	977,087	655,263
租税公課	2,300	4,200	1,900
支払負担金	19,216	19,210	6
雑費	33,197	89,753	56,556
事業費計	13,673,876	15,314,088	△ 1,640,212
経常費用計	13,673,876	15,314,088	△ 1,640,212
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 521,168	569,046	△ 1,090,214
当期経常増減額	△ 521,168	569,046	△ 1,090,214
2. 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益			0
その他経常外収益			0
退職給付引当金取崩額	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前期当期一般正味財産増減額	521,168	569,046	1,090,214
当期一般正味財産増減額	△ 521,168	569,046	△ 1,090,214
一般正味財産期首残高	3,755,211	3,186,165	569,046
一般正味財産期末残高	3,234,043	3,755,211	△ 521,168
II 指定正味財産増減の部			0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	3,234,043	3,755,211	△ 521,168

正味財産増減計算書内訳表

平成26年4月1日から平成27年3月31日

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部引去消去	合 計
		共 益	管 理		
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
受取会費					
正会員受取会費収入	6,857,500	1,055,000	2,637,500	0	10,550,000
賛助会員受取会費収入	178,750	27,500	68,750	0	275,000
受取会費計	7,036,250	1,082,500	2,706,250	0	10,825,000
事業収益					
環境保全講習会事業収入	1,311,000	225,400	0	0	1,536,400
表示板等頒布事業収入	0	155,150	0	0	155,150
広告料収入	244,800	95,200	0	0	340,000
事業収益計	1,555,800	475,750	0	0	2,031,550
受取補助金等					
受取県事業受託収入	0	0	0	0	0
受取負担金	0	0	275,000	0	275,000
負担金収入	0	0	275,000	0	275,000
雑収益					
受取利息	0	0	7,669	0	7,669
雑収入	0	0	13,489	0	13,489
雑収益計	0	0	21,158	0	21,158
経常収益計	8,592,050	1,558,250	3,002,408	0	13,152,708
(2) 経常費用					
事業費					0
役員報酬	2,028,340	274,100	438,560	0	2,741,000
給料手当	3,405,955	184,106	1,012,582	0	4,602,643
退職給付費用	0	0	350,000	0	350,000
法定福利費	1,900,160	177,349	456,038	0	2,533,547
福利厚生費	0	88,408	43,194	0	131,602
旅費交通費	61,579	113,054	13,380	0	188,013
通信運搬費	142,775	62,114	218,566	0	423,455
会議費	44,712	0	584,467	0	629,179
消耗什器備品費	0	0	0	0	0
消耗品費	199,280	10,216	53,757	0	259,253
印刷製本費	781,696	254,346	97,632	0	1,133,674
光熱水料費	0	0	60,191	0	60,191
賃借料	74,640	0	170,142	0	244,782
諸謝金	321,824	0	0	0	321,824
租税公課	0	0	2,300	0	2,300
支払負担金	0	5,216	14,000	0	19,216
雑費	3,176	11,336	14,685	0	29,197
事業費計	8,964,137	1,180,245	3,529,494	0	13,673,876
経常費用計	8,964,137	1,180,245	3,529,494	0	13,673,876
評価損益等調整前当期経常増減額	372,087	378,005	527,086	0	521,168
当期経常増減額	372,087	378,005	527,086	0	521,168
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
その他経常外収益					
退職給付引当金取崩額	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替額					
税引前期当期一般正味財産増減額	372,087	378,005	527,086	0	521,168
当期一般正味財産増減額	372,087	378,005	527,086	0	521,168
一般正味財産期首残高					3,755,211
一般正味財産期末残高					3,234,043
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額					0
指定正味財産期首残高					0
指定正味財産期末残高					0
III 正味財産期末残高					3,234,043

貸借対照表

平成27年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	3,330,488	3,857,199	526,711
未収会費	70,000	0	70,000
未収金	0	0	0
前払金	112,406	98,285	14,121
流動資産合計	3,512,894	3,955,484	△ 442,590
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	5,635,936	5,285,936	350,000
事務所移転経費引当資産	3,160,000	3,150,000	10,000
(3) その他固定資産			
保証金	0	0	0
固定資産合計	8,795,936	8,435,936	360,000
資 産 合 計	12,308,830	12,391,420	△ 82,590
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	14,527	25,593	11,066
預り金	213,324	174,680	38,644
流動負債合計	227,851	200,273	27,578
2. 固定負債			
退職給付引当金	5,635,936	5,285,936	350,000
固定負債合計	5,635,936	5,285,936	350,000
負 債 合 計	5,863,787	5,486,209	377,578
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	6,445,043	6,905,211	△ 460,168
正 味 財 産 合 計	6,445,043	6,905,211	△ 460,168
負債及び正味財産合計	12,308,830	12,391,420	△ 82,590

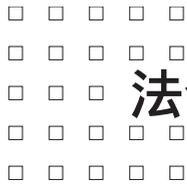
第3号議案 役員の一部改選について

役職名	氏名	所属	役職
理事	高橋 徹	日産自動車(株)追浜工場	理事工場長
理事	金武 哲史	富士フィルム(株)神奈川工場	神奈川工場長
理事	川上 彰久	(株)さんこうどう	代表取締役
理事	青山 尚巳	(公社)神奈川県環境保全協議会	事務局長
理事	加藤 達也	(株)岡村製作所生産本部追浜事業所	事業所長
理事	加藤 政裕	中外製薬(株)鎌倉事業所	研究本部研究業務推進部 鎌倉事業所長代理
理事	金子 勇	三菱電機(株)鎌倉製作所	製造管理部製造企画課 専任
理事	菊地原秀光	アマノ(株)相模原事業所	部品製造部長
理事	高杉 和宏	アンリツ(株)	環境・品質推進部長
理事	加賀谷 努	ソニー(株)厚木テクノロジーセンター	厚木総務部マネジャー
理事	長田 圭五	東芝機械(株)相模工場	工務部相模設備課課長
理事	村田 啓	トピー工業(株)綾瀬製造所	設備技術部保全技術グループ主査
理事	山口 直行	(株)ニコン相模原製作所	所長
理事	杉崎 健司	日立オートモティブシステムズ(株) 相模事業所	相模生産技術課長
理事	山田 慶造	いすゞ自動車(株)藤沢工場	労務部 総務・安全健康G 藤沢安全健康管理 指導職
理事	小島 利春	市光工業(株) ライティング事業本部伊勢原製造所	人事総務課長
理事	佐藤 裕稔	関西ペイント(株)平塚事業所	事務部安全環境課 課長
理事	伊賀 祐人	田中貴金属工業(株)湘南工場	品質管理セクション ISO事務局マネージャー 環境管理責任者
理事	井出 勝則	東邦チタニウム(株)茅ヶ崎工場	環境安全事務局
理事	稲田 秀樹	JX日鉱日石金属(株)倉見工場	環境安全室主任技師
理事	村上 安英	日産車体(株)	安全環境部 シニア・スタッフ
理事	高橋 毅	(株)日立製作所 ITプラットフォーム事業本部	環境・施設管理センタ 環境統括室長
理事	須藤 忠司	三菱樹脂(株)平塚工場	環境安全品証部長
理事	板谷 行生	花王(株)小田原サービスセンター	人事総務グループ
理事	南場 徹也	クボタシーアイ(株)小田原工場	EMS事務局
理事	高橋 文夫	三菱化学ハイテクニカ(株) 小田原テクノセンター	技術管理部 部長
理事	岡田 充弘	富士ゼロックス(株)竹松事業所	総務部環境経営グループマネジャー
監事	吉田 剛	味の素(株)川崎事業所	総務・エリア管理部 安全・環境グループ部長
監事	根本 敏子	(株)旭商会	代表取締役

* 太字部分は改選者の意。

平成27年度 公益社団法人神奈川県環境保全協議会 環境保全表彰

受賞者名	所在地	功績の概要
三菱電機 特機システム(株)	鎌倉市	ISO14001の認証を1999年に取得後、2003年に三菱電機グループ地区単位での統合認証に参画し、省エネルギー活動の推進、廃棄物のリサイクル・適正処理の徹底、地球観測システムや有毒ガスや放射線が漏えいする現場などで活動する偵察ロボットの開発などに成果をあげた。
(株)やまびこ 横須賀事業所	横須賀市	ISO14001の認証を2001年に取得し、省エネルギーの推進、廃棄物の適正管理・リサイクル、エンジン内部のメッキ材料の転換による有害化学物質の削減などに成果をあげた。
太平金属工業(株)	大和市	ISO14001の認証を2002年に取得し、送風機、ポンプへのインバーター制御の導入等による省エネルギーの推進、製品の軽量設計等による省資源の推進、廃棄物のリサイクル、化学物質の見直しなどに成果をあげた。
凶南鍛工(株)	大和市	ISO14001の認証を2001年に取得し、鍛造設備・空調・照明等の節電などによる省エネルギーの推進、廃棄物の適正管理の徹底、グリーン調達の実施活動などに成果をあげた。
(株)タツタ 環境分析センター 神奈川事業所	茅ヶ崎市	ISO14001の認証を2002年に取得し、現在は東邦チタニウム(株)茅ヶ崎サイトの一部として継続させている。取組みとしては、空調等の節電等の省エネルギーの推進、廃棄物の適正管理と廃蛍光管等のリサイクルの推進、事業所内の緑化などに成果をあげた。
アズビル(株) 湘南工場	高座郡寒川町	ISO14001の認証を1996年に取得し、地球環境保全への取組を経営の最重点課題の一つと捉え、自社のエネルギーマネジメントソリューションの導入や環境対応商品の推進、資源循環・生物多様性への取組などに成果をあげた。
紀伊産業(株) 鴨宮工場	小田原市	ISO14001の認証を2000年に取得し、工場内の照明をLED蛍光灯に交換するなど大幅な削減を実現させた。また、生産工程で排出されるアルミシート・緩衝材のリサイクルの推進などに成果をあげた。
ケイミュー(株) 小田原工場	小田原市	大型集塵機省エネファン、LED照明の導入やボイラー燃料を転換する等により省エネルギーの推進を図り、木製パレットのチップ化などゼロエミッションや資源循環活動の推進などに成果をあげた。



法令・行政の動向

ガソリンベーパー対策の推進について

神奈川県環境農政局環境部大気水質課

1 はじめに

PM2.5（微小粒子状物質）は、健康影響のおそれがあるとされ、中国でのPM2.5等による深刻な大気汚染発生の報道等を契機に国民の関心が高まっています。

しかし、PM2.5の平成24年度の全国環境基準達成率は40.5%と極めて低いことから、その濃度の低減に向けた一層の取組が求められています。

そこで、PM2.5の低減に向けた新たな取組として、ガソリンベーパー対策を紹介します。

2 新たな対策の必要性

PM2.5の主な原因物質は、窒素酸化物（NO_x）、硫酸酸化物（SO_x）、揮発性有機化合物（VOC）、粒子状物質があります。このうち、自動車に由来するNO_x、SO_x、粒子状物質については、自動車排ガス規制等により、また、固定発生源については、大気汚染防止法等の規制や事業者の自主取組により、これまで大幅な低減が図られていますが、依然として環境基準の達成状況は厳しく、既存の対策だけでは大幅な改善が見込めない状況です。

環境基準の達成状況（平成24年度 全国）

区分	測定局数	達成局数	達成率(%)
PM2.5	435	176	40.5
光化学オキシダント	1,172	3	0.3

こうしたことから、新たな対策としてガソリンベーパー対策が必要と考えます。

ガソリンベーパーは、ガソリンが蒸発して気化した蒸気であり、PM2.5の原因物質であるVOCの一種です。また、光化学オキシダントの原因物質でもあります。

このガソリンベーパーは、タンクローリーからガソリンスタンドへの荷卸時や、ガソリンスタンドでの給油時のほか、駐車時や走行時も自動車から放出されています。国の推計では、ガソリンスタンドにおける年間の放出量は約11万トン（平成24年度）に及んでおり、これはVOC排出量の約14.5%を占めています。

欧米では、対策の方法は異なりますが、既に規制によりガソリンベーパーの大気への放出を抑制しています。

一方、我が国では、タンクローリーからガソリンスタンドへの荷卸時のガソリンベーパーの放出を、本県その他、いくつかの自治体が条例で規制していますが、給油時、駐車時、走行時の規制はありません。平成14年に国の中央環境審議会で、この問題について「早期に結論を出すことが適当」とされましたが、現在、法による規制は行われていません。



給油時の「ガソリンベーパーの映像（特殊な赤外線カメラで撮影）
丸内の黒い煙が「ガソリンベーパー」

3 対策の概要

ガソリンベーパー対策には、自動車側での対策とガソリンスタンド側での対策があります。米国は自動車側の対策であるORVR車を導入しており、欧州では、ガソリンスタンド側での対策を行っています。

ORVR : Onboard Refueling Vapor Recovery (車搭載型燃料供給時蒸気回収装置)

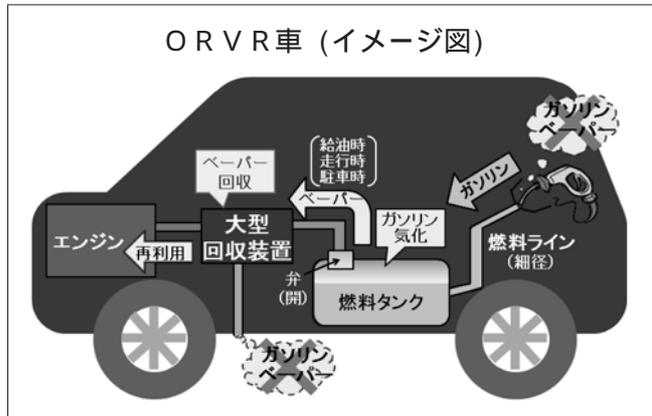
自動車側の対策であるORVR車は、車体内に大型の回収装置(キャニスター)を装着し、給油時、駐車時、走行時のあらゆる場面でガソリンベーパーを回収します。また、回収したガソリンベーパーを燃料として再利用します。

国内車にも、回収装置(キャニスター)が装着されていますが、給油時は機能せず、また、駐車時に対応する十分な容量がありません。

一方、ガソリンスタンド側の対策は、ガソリン計量機でガソリンベーパーを回収するもので、給油時のみ回収することが可能です。

こうしたことから、本県は、ガソリンスタンド側の対策に比べ、自動車側の対策であるORVR車の方がより効果的であると考えています。

なお、米国でのORVR車の規制に対応するため、日本で生産される米国向けの輸出車はORVR車であり、日本の自動車メーカーは技術的にはORVR車への対応は可能です。ただし、大型の回収装置を装着することから、既販車では対応できず、新車から対応することになります。



4 最後に

ORVR車の普及には、道路運送車両法の保安基準などの法令改正が必要になります。そのため、本県は、平成26年6月にORVR車の早期義務付けを国に要望したところです。また、同年10月の関東地方知事会議、同年11月の九都県市首脳会議で、本県からORVR車の早期義務付けを提案し、合意を得て、国に要請活動を行ったところです。

PM2.5や光化学オキシダントの発生源は複数あり、未だ十分解明されていない中、これらの物質の低減に向け、できることから対策していくことが重要であると考えますので、皆様のご理解・ご協力をお願いします。

(参考HP)

・かなかなかぞく

<http://kanakanakazoku.com/health/1097.html>

・普及させようORVR車 - きれいな大気を目指して -

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f531508/>

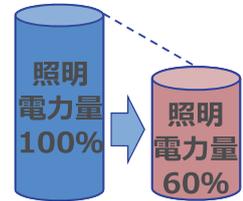
「明るすぎはもったいない！」 蛍光灯をそのまま省エネ化する調光装置

蛍光灯の省エネ
イノベーション！

MERS蛍光灯調光装置 MERS-IVM18

灯具は既存のまま
省エネ/省CO2達成

LED以外の安心安価なエコな選択肢
従来型蛍光灯と配線をそのまま活用



背景

- 電力料金の高騰
- CO2削減ノルマ
- 照明電力の割合
- 照度基準の改定
- 短期投資回収

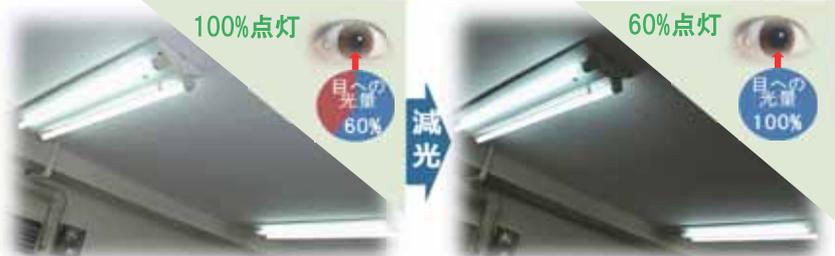
震災以降電力料金の値上げが相次ぎ以前に比べ約1.4倍前後になろうとしており、中小企業を中心に利益を圧迫しています。また、大企業では毎年1%の省CO2削減ノルマでの省エネ投資が課題になっています。

事業用照明電力は全電力の25%~40%を占め、経産省によればエアコン省エネ実績の4~8%(全電力対比)より照明省エネ実績の5~14%の方が省エネ効果が大きい。JIS照度基準を改定し300~500ルクスの机上照度を推奨しています。省エネ照明として、LED以外を求めるケース(投資金額、光の質/色味や直進性、寿命、技術進歩スピードなどから)も多く、発煙事故を誘発する間引き点灯回避も周知されるようになってきています。

MERS蛍光灯調光装置は、圧倒的に多い従来型蛍光灯を既存のまま使い続けながら、LEDの様にわざわざ照明器具を高コストで新規更新することなく大幅な省電力が可能で、後付けで配線類も既存のまま複数蛍光灯を一括調光(30~50%減光)できる簡便/安価な全く新しい技術の装置です。これ迄は普通の銅鉄安定器型蛍光灯を調光すると立ち切れしてしまいましたが、東京工業大学発のインバータに代わる電力制御の特許技術「MERS」の採用により初めて安定的な調光が可能になりました。

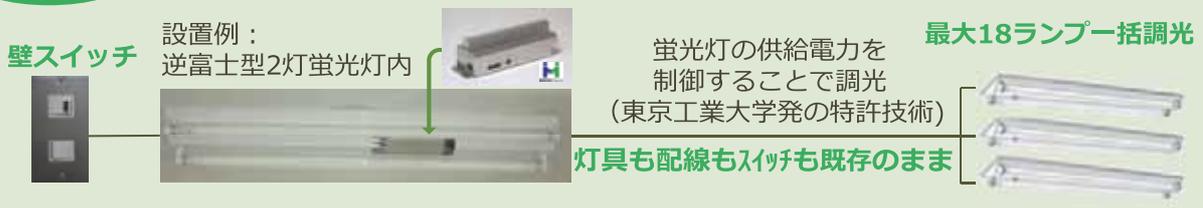
原理

- 瞳による光量自動調整
→人は減光しても直ぐに慣れ暗く感じない
- 蛍光灯への供給電力調整
→電圧/電流/力率の制御で立ち切れ回避し調光



日常業務に何ら支障を来さず省エネ/省CO2達成！

構成



メリット

- 簡単に大幅節電 ... 既存蛍光灯の明るさを40%以上低減し消費電力も比例して削減
- 既存品の活用 ... 蛍光灯も配線類も新規更新不要で電源回路に直列に装置挿入するだけ
- 低コスト ... 1台で複数の銅鉄型蛍光灯器具を調光可能(IVM18:40Wx最大18ランプ)
- 容易な後付け取付 ... 既設灯具内部や壁面等への簡単設置(安定器交換工事程度)
- 蛍光ランプも長寿命 ... ランプ交換頻度削減によるランプ代と人件費の節約

工事費込の投資を電力削減料により**2年未満**で回収！

省エネの手っ取り早い照明電力削減手段として、これ迄LED照明への設備更新かランプの間引きしかありませんでしたが以下の様な課題も多く、まだ使える既存蛍光灯で、下記シミュレーショングラフの様
に先々将来の照明設備更新のタイミング迄に十分投資回収可能な省電力/省CO2策をご提供します。

照明電力削減の課題

照明電力削減の課題

LEDの課題

価格

蛍光灯の数倍の価格、光源チップ以外のドライバや放熱機構が高額

設置交換費用

既存灯具からの設置交換作業が大きく高コストで時間を要す

光の質

直進性が高くギラツキが強く目に疲れを感じる。フリーカー障害や散乱しないので暗く感じる

色味

効率の高いものと色の良いものは両立しない

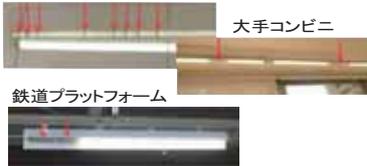
寿命

樹脂拡散透過板の熱収縮変質劣化、インバータ故障で低寿命が実態

重さ

冷却機構のため重く直管形だと器具から脱落する可能性がある

不点灯の実態



電子ノイズ

インバータがハードスイッチングにより電子ノイズ(EMC)や高調波を発生し電子機器に悪影響

規格

技術的にバラバラで業界標準/規格/法整備等がやっとまとまったが実態は順守されていない

評価基準

基準が十分には定まらず性能が大きく異なる。特に事業用ランプには互換性がほとんど無い

製造技術

チップ色/明るさにバラツキ(20種以上に分類)があり組合せ歩留まりが悪く粗悪品が出る

環境負荷

製造含めたライフサイクルエネルギーや、チップの有害ヒ素/ガリウムやドライバ駆動回路の希少金属で実は新たな環境課題発生

健康被害

体内時計や眼への悪影響から子供や老人への配慮が必要

LEDは・・・

- インシヤルコストがかかり過ぎる
- 眩しく不快に感じる
- 発色が悪くて気になる

間引きによる障害

視環境の悪化

間引き点灯は照度不足や照度ムラによる視環境の悪化を生じさせるため、調光による良好な視環境を確保した節電対策が望まれる。

乏しい電力削減効果

数多く設置されているFL40形2灯用やFLR40形2灯用では、入力電流が定格の34%~115%流れるため、間引き点灯を行うと安定器の加熱やブレーカ容量のオーバーを生じ、また、電力削減の効果も乏しい。(引用元:2011年8月岩崎電気ホームページ資料)

焼損事故の懸念

間引きではランプが無いため不具合に気づかないまま電流が流れ続け焼損事故の誘因になる。



設置事例

・・・これ迄の設置事例では、以下の様な評価を頂戴しました。

- 【工場】・高額LEDは採用しにくいですが簡単で安価に大幅な省エネが実現できた
車修理工場・照明調光のみで事業所全消費電力量の12%が削減できた
下写真参照・デマンドが減少し契約電力(基本料金)を6%削減できた
・LEDは光が廻り込まず手暗がりだが作業対象裏側も明るさが確保できた
- 【事務所】・今迄明るすぎでいたので眼が疲れずPC画面も見やすくなった
・(40Wx12ランプの部屋)1ヵ月分で電気料金が¥2500安くなった
・設置30年以上の蛍光灯をそのまま使え、かつランプ寿命が延びた
・テナントビルなので退去時原状復旧が容易な省エネ設備で良かった

適用対象

- 工場
- 事務所
- 倉庫
- 駐車場
- その他

オプション

- LAN接続制御
- リモコン制御
- センサー連携
- BEMS連携

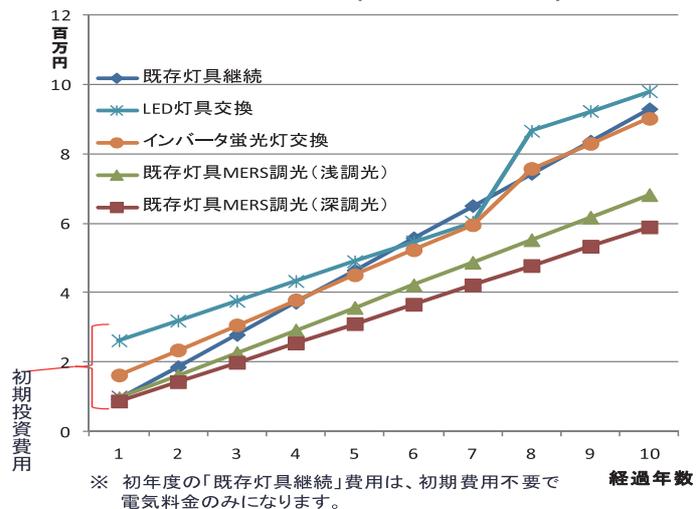


右記シミュレーション条件

- ・灯具数 : 100台
 - ・電気料金 : ¥30/kWh(中小事業所レベル)
 - ・年間使用時間 : 3640h/年(14h/日x260日/年)
 - ・既存灯具(電力) : 40Wラビッド2灯(85W)
 - ・LED灯具(電力) : 40W直管型2灯(52.1W)
 - ・インバータ灯具(電力) : FHF32W2灯(66W)
 - ・MERS調光照度 : 深60%、浅70%
 - ・インバータ/ドライバ寿命 : 8年
 - ・銅鉄安定器寿命 : 15年
- ※ 省エネ調光が前提のため同一照度ではありません。

圧倒的な経済性

総コスト比較(初期/ランニング)



MERS-IVM18外観

外形寸法(冷却フィン別)
61x44x224mm
取付穴ピッチ
210mm



開発/製造/発売元
株式会社スーパーセキュリティソリューションズ
〒101-0021 東京都千代田区外神田3-8-7 神栄ビル5階
電話 03-5209-2871 問合せ info@inoverita.com
担当者 神子

平成26年度 環境保全視察研究会に参加して

第一三ケミカルファーマ株式会社 小田原工場
管理部スタッフグループ 足田 康

2015年3月6日（金）に開催された（公社）神奈川県環境保全協議会主催の「平成26年度環境保全視察研究会」に参加させて頂きました。会員事業所25名の出席により、茨城県鹿嶋市に事業所を構える新日鐵住金(株)鹿島製鐵所と、同じ鹿島臨海工業地域の神栖市にある『鹿島共同再資源化センター』の2社の工場視察へと向かいました。

1社目の視察先である新日鐵住金(株)鹿島製鐵所の正門を通過すると、前面には広くて長い桜並木の通用道路が延々と続きます。桜満開の4月に来たかと思うほど、その頃の光景を想像しました。

場内1つ目の工場見学は、原料の鉬石を1200度の高炉で溶かし、亜鉛を取り出して鉄含有率の高い製鉄原料を得る工場です。直径約4m、長さ80mの高炉の中は、まるで溶岩が注ぎ込まれているかのようで、そのスケールの大きさに驚きました。2つ目の工場見学は、厚さ20cm、縦横3m程の厚板鋼板が見るうちに厚さ数mm、長さ数十mの薄板へと引き伸ばされ、加工される圧延工場です。赤熱した厚板鋼板が巨大レーンに押し出され、大量の水で何度も冷やされ大量の水蒸気が放出され成形されていく光景はまさに圧巻で、輻射熱を全身で感じながら圧倒されてしまいました。



2社目となる視察先は、同じく鹿島臨海工業地域に構える茨城県神栖市の『鹿島共同再

資源化センター』です。

このセンターは、鹿島地区の2市（鹿嶋市、神栖市）から排出される可燃性の一般家庭ごみで作られる固形燃料（RDF）と、工場から排出される産業廃棄物を混ぜ合わせて焼却し、この焼却熱を利用して発電を行っている施設です。

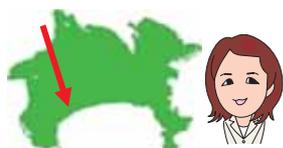
現在、RDFは公共施設、工場、ホテルなどの冷暖房用熱源として使われ、RDFに対する地方自治体の関心も高まりつつあり、電力事業の規制緩和と相まって各地で事業化が進められているとのこと。今回、地域社会と企業が一体となって運営する全国初の資源循環型のモデル工場を視察することが出来ました。

こちらの施設も廃熱ボイラの排ガスを発電に有効利用したり、廃棄物ピットから燃焼空気を吸引することで悪臭の発生を防止したり、また、触媒反応塔にてダイオキシンやNOxを除去するなど、大気環境対策については万全と感じました。なお、焼却施設内で発生する汚水と排水は焼却処理されます。事業所からの排ガスや排水は適切に処理されており、環境にやさしくクリーンな施設との印象を受けました。



最後に、今回の視察研究会の開催に当たりましてご尽力下さいました事務局様、協会役員の皆様、関係者の皆様方に心より御礼を申し上げます。

会員事業所訪問 22 お元気ですか？



今回は小田原市の事業所です！

株式会社 G S ユアサ小田原事業所

協議会事務局 山崎美紀



工場外観

(株)G S ユアサ小田原事業所は、1941年湯浅蓄電池製造(株)として小田原市扇町で操業開始、1992年に(株)ユアサコーポレーションに社名変更、2004年4月には新たに日本電池(株)と経営統合し、現在の(株)G S ユアサ小田原事業所となり、2009年に扇町から現在の成田へ移転されました。当協議会には昭和53年3月に入会されています。当事業所では、主に小形制御弁式鉛蓄電池や産業用アルカリ蓄電池を製造。また、海外で製造した二輪車用電池を検査し、各メーカーに納入もしています。

小型制御弁式鉛蓄電池とは、オフィスビルなどの様々な設備、例えばエレベータや防災防犯システム機器などの電源装置として使用され、産業用アルカリ蓄電池の代表的な用途は、ビルや鉄道などの非常用蓄電池に使用され、実際には車両の下のボックスに格納し取り付けられています。

主力製品



車両用補助電源アルカリ蓄電池



開放式バッテリー(12V・6V)
YB シリーズ 他



ECoR
LONG LIFE

電車は電源を切る時にパンタグラフを折りたたんで電源から遮断されます。遮断されてしまった車両はどのようにしてパンタグラフを起動させるのか???

その電力にこの電池が使用されるそうです。

他にも非常時には列車のドアを開閉や真っ暗闇の中の一時的な明かりの電源にもなるとのことでした。

また当事業所の取扱いではありませんが、地球環境に配慮した高性能自動車用電池としてハイブリット車や電気自動車用リチウムイオン電池やアイドリングストップ車用鉛蓄電池などがあるとのことでした。

環境保全活動としては、ISO14001を移転後あらためて2009年に取得。周辺を住宅で囲まれていることから排水処理システムを設置する環境条件でなく、工程で発生する排水は全て廃水タンクに貯蔵される完全クローズドシステムを採用、貯蔵された廃水は収集運搬業者から中間処理業者に運ばれ中和酸化還元凝集沈殿処分をしているそうです。

また、工程内で使用する電解液などの受入口・貯蔵タンクの全てには防液堤を二重に設けて土壌への浸透を防止。タンク類からの漏洩を想定した緊急事態への模擬訓練を実施し、確実に工程排水として処理する体制を整えています。ニッケル、カドミウム、コバルトを取り扱う職場では2足制を採用、建屋外への飛散を防止。敷地内からの雨水に混じって重金属類が一般排水に流失しないことを確認するために降雨時などには、一般排水溝内のサンプリングを実施しているそうです。廃棄物対策としては、処理委託費用を低減する活動を2010年から継続実施しており、ニッケル・カドミウムなどは有価物として処理、

特にカドミウムは国内・海外で最終処分していたそうですが、リスクを避けるため現在は国内で中間処理後最終処分しているとのことでした。事業所周辺にはすぐに住宅が隣接しているため、徹底した管理と対策を取られていることが所内をご案内頂いて伺えました。

他に地域貢献活動としては、年2回事業所周辺の清掃活動を行ったり、小田原市と協働して「クリーンさかわ清掃活動」を実施されています。

普段の生活ではあまりお目にかかれない電池ですが、思いもよらないところで活躍しています。大きな災害が続く今、ますますその需要が高まっていくように感じた訪問となりました。

—掲載内容についてのお問合せ先—

(株)G S ユアサ小田原事業所
施設管理部 第1グループ 尾板 守
電話 (0465) 37 - 9700 (直通)

協議会の活動状況

1 会員の状況 平成27年3月31日現在

区 分	正 会 員	賛助会員	計
前回までの計	305	22	327
新 入 会 員	0	0	0
退 会 会 員	3	0	3
計	302	22	324

退会会員 3社

2 平成26年度県央地区産業廃棄物講演会 (県産業廃棄物協会と共催)

日 時：平成26年12月4日(木) 14:00～17:00

会 場：大和商工会議所 大ホール

内 容：(1) 産廃協会県央地区委員長あいさつ

(2) 廃棄物処理法の現場指導の状況

講師：神奈川県県央地域県政総合センター

環境部長 関 猛彦 氏

(3) 産業廃棄物処理において直面するリスクへの対処のポイント

講師：佐藤泉法律事務所

佐藤 泉 氏

(4) 質疑応答

出席者：75名



3 平成26年度第2回広報・ホームページ担当部会委員会

日 時：平成26年12月5日(金) 15:00～17:00

会 場：横浜・波止場会館

内 容：(1) 会報“しんかんきょう132号”の発行について

(2) 会報“しんかんきょう133号”発行計画等について

(3) ホームページ広報について

4 女性担当者のための環境保全研修会

(シリーズ4回)

日 時：平成26年12月19日(金) 13:00～16:30

会 場：神奈川県環境科学センター

受講者：18名

内 容：(1) はじめまして！

- 神奈川県環境科学センターの概要及び施設見学について -

(2) 環境法を知る！

- 神奈川県生活環境の保全等に関する条例について -

(3) 実務のいろは！

- 企業における環境管理のポイント -

(4) 質疑応答



5 平成26年度環境実務後継者育成講座

日 時：平成27年1月16日(金) 9:30～16:45

会 場：万国橋会議センター

受講者：33名

- 内 容：(1) 環境法令の全体像の理解、環境
法令の読み方
(2) 廃棄物処理法の基礎知識
(3) 廃棄物処理法(応用編)(中級編)
(4) 企業における廃棄物の適正管理
の重要性
(5) 講座のまとめ・修了証



6 平成26年度地区部会役員会議

【県央地区】

- 日 時：平成27年 1月30日(金) 14:00～17:00
会 場：日産自動車(株)座間事業所
内 容：以下全地区共通
(1) 平成27年度事業計画(地区部会
関連)について
(2) 会長・県センター所長表彰候補
者推薦について
(3) その他



【横須賀・鎌倉地区】

- 日 時：平成27年 2月10日(火) 14:00～17:00
会 場：菱電湘南エレクトロニクス(株)

【湘南地区】

- 日 時：平成27年 2月20日(金) 14:00～17:00
会 場：いすゞ自動車(株)藤沢工場

【県西地区】

- 日 時：平成27年 3月3日(火) 14:00～17:00
会 場：第一三共ケミカルファーマ(株)
小田原工場

7 平成26年度第2回企画教育委員会

- 日 時：平成27年 2月27日(金) 15:00～17:00
会 場：横浜市開港記念会館
内 容：(1) 平成26年度の教育事業進捗状況
について
(2) 平成27年度の事業計画案について
(3) その他事項

8 平成26年度環境保全視察研究会 (P16参照)

- 日 時：平成27年 3月6日(金)
視察先：新日鐵住金(株)鹿島製鐵所
鹿島共同再資源化センター
参加者：25名

9 平成26年度第2回総務員会

- 日 時：平成27年 3月13日(金) 13:30～14:30
会 場：横浜情報文化センター
内 容：(1) 平成27年度環境保全表彰等被表
彰者の選考について
(2) 平成26年度第3回理事会及び第
3回定時総会開催について
(3) その他

10 平成26年度第3回通常理事会

- 日 時：平成27年 3月13日(金) 15:00～17:00
会 場：横浜情報文化センター
内 容：(1) 新会員の承認について
(2) 役員の一部変更及び退任役員へ
の記念品の贈呈について
(3) 平成26年度事業報告案について
(4) 平成26年度収支決算報告(見込
み)案について
(5) 平成27年度事業計画案、収支予
算案及び資金調達及び設備投資の
見込み案について
(6) 平成27年度環境保全表彰被表彰
者の承認について
(7) その他



わがお国自慢

～北海道・函館市編～



私の故郷は、北海道函館市です。私の住んでいた西武地区は、函館山の麓の港に面した場所で、開港時からの異国情緒のある街並みがあるところです。函館といえば、まず夜景です、以前は世界三大夜景や百万ドルの夜景と函館では謂われており、現在は、ミシュラングリーンガイド（観光地ガイド）にて、3つ星を獲得しております。夜景は四季毎に見所がありますが、私の好きな季節は、夏から秋にかけて、烏賊つり船の「漁火」の灯りと、町の灯りととの競演がとても綺麗です。現在、函館山からのリアルタイム映像がHPより配信されておりますので一度ご覧ください。



(掲載写真 はHPより取得)



(写真は基坂：
正面は公会堂)

次に、烏賊ですが、私の子供のころは、烏賊刺しは、朝飯のおかずで、夜は食べません。理由は、烏賊つり船が、早朝に漁から戻り、毎朝行商人が「いかえ～、いかー」と売りにきて、それを烏賊刺しとして朝飯のおかずとなり、夕飯は塩辛やイカめしです。観光名所では、明治時代からの和洋折衷住宅等種々ありますが、坂の景観も函館の見所で、ドラマなどでよく紹介されており、ミシュランにて1つ星になっています。

函館は造船の町でもあります、函館どっくでは大型船の豪快な進水式を、一般でも見るすることができます。新幹線ができるまでは、上野から青森まで8時間、連絡船で4時間の計12時間かかりましたので、連絡船で函館に近づくとまず大型クレーンが見えてきて、やっと函館に着いたと思ったものです。今は6時間と半分となり、来年には北海道まで新幹線が開通し4時間となります、待ち時間等を含めれば、飛行機と変わらない位便利になりますので、一度函館にお越しください。



(記 田中貴金属工業(株)湘南工場 伊賀祐人)

広報委員会

委員長	(株)日立製作所ITプラットフォーム事業本部	委員	三菱樹脂(株)平塚工場
副委員長	市光工業(株)伊勢原製造所	委員	(株)岡村製作所追浜事業所
委員	(株)さんこうどう	委員	ソニー(株)厚木テクノロジーセンター
委員	富士フィルム(株)神奈川工場	委員	(株)ニコン相模原製作所

✉ 事務局だより ✉

会員の皆様には日頃から“しんかんきょう”をご覧いただきありがとうございます。

総会特別号として発行して今年で4回目、当協議会は「公益社団化」3年目を迎えました。

今号は、総会資料としてまた皆様に気軽にお読み頂けるコンパクトな情報誌となっておりますので、是非ご活用ください。新しい年度がスタートいたしました、引き続き会員の皆様にタイムリーな情報をお届け出来るよう努めてまいります。

会報 しんかんきょう133号 (総会特別号)

発行年月日	平成27年4月
発行人兼	公益社団法人神奈川県環境保全協議会
編集責任者	会長 高橋 徹 横浜市中区日本大通1 (神奈川県環境農政局内) 電話 (045) 210-8727 E-mail: shinkankyoku@eagle.ocn.ne.jp ホームページ: http://www.shinkankyoku.or.jp
編集協力 製作・印刷	(株)さんこうどう (http://www.sankodo.net) 電話 (0466) 27-2511

天然資源の節減、二次廃棄物ゼロ、CO₂削減

「パーフェクトリサイクル」

で循環型社会に貢献



以下の様な汚泥・ばいじん・鉄粉は、是非「パーフェクトリサイクル」にお任せ下さい！

■埋め立て処分されている鉄・亜鉛などを含む廃棄物

⇒鉄の原料となる鉄鋼石や亜鉛の原料となる亜鉛鉱石の代わりになります

■焼却処分されているカーボン廃棄物

⇒石炭の代わりになります

*「パーフェクトリサイクル」は最終処分なし！ゼロエミッションに貢献いたします！



株式会社エコイノベーション

(平成24年9月 優良産廃処理業者認定)

eco innovation

〒314-0014 茨城県鹿嶋市光3番地

新日鐵住金(株)鹿島製鐵所構内

TEL：0299-84-3911 FAX：0299-84-3929

URL：<http://ecoinnovation.jp/>

(旧社名：鹿島選鉱(株) 平成25年7月社名変更)

お問い合わせは

【営業技術部】まで

資源循環炉

検索

はじめまして！

I am... 萬世リサイクルシステムズ株式会社

住所 神奈川県横浜市金沢区鳥浜町 17-3 電話 045-769-2526

ISO14001 認定取得

神奈川県地域貢献企業最上位認定

優良産廃処理業者認定制度適合

横浜市産業廃棄物処分業許可

神奈川県廃棄物再生事業者登録

www.yokohama-re-style.com

産業廃棄物処理業

廃木材から燃料用・製紙原料用木質チップの製造・販売

廃プラスチックから固形燃料の製造販売

環境・CSRコンサルティング業務

国際協力業務・調査業務

JICA・NEDOなどから調査業務を受託しています

CSRコンサルティング業務

様々な企業とタイアップし、新しいリサイクルシステム構築

環境機器の販売業務

新しいタイプの太陽電池の販売業務

ポリカーボネートで圧着した薄膜太陽電池の販売

LED照明の販売

光触媒シートの販売

蛍光灯からLEDへの交換

蛍光灯のリサイクルまで一貫したサービスの提供